



Seng Leang

カンボジア プノンペン市第一審裁判所 裁判官

【人物紹介】

意欲・向上心にあふれ、聡明かつ知識・経験が豊富な人物である。また、新しいことをすぐさま吸収し、決断力と高いモチベーションを備え、いかなる分野にも真摯に取り組んでいることが、多岐にわたる職歴や学歴から証明されている。

【学歴】

王立司法学院（カンボジア プノンペン）

商事裁判官コース：2013年入学

王立司法学院（カンボジア プノンペン）

裁判官コース：2009年卒業

KDI公共政策・経営大学院（大韓民国 ソウル）

公共政策修士：2005年卒業（英語による授業）

王立プノンペン大学（外国語研究所）（カンボジア） TEFL（外国語としての英語教授法）教育学士課程4年次1学期生：2003～2004年

王立行政学院（カンボジア プノンペン）

幹部公務員コース：2001年卒業

法律経済科学大学（カンボジア プノンペン）

法学士：1999年卒業

【職歴】

2019～2021年：プノンペン特別市始審裁判所（カンボジア プノンペン）副所長（現職）。

2015～2021年：プノンペン特別市始審裁判所（カンボジア プノンペン）第一審裁判官（現職）。

2014年：カンボジア特別法廷カンボジア人補欠共同検察官に任命。

2012年：カンボジア特別法廷共同検察官事務所の法律顧問を務め、申立てや文書の作成、法務についての助言、同事務所の依頼による特定案件調査等を行う。

2009～2013年：コンボントム州裁判所第一審裁判官に任官。

2006年後半：カンボジア経済財政省（MEF）経済財政研究所（EFI）（カンボジア プノンペン）で客員講師として財政および契約法を教授。

2006年後半：アジア開発銀行（ADB）インフラ事業（TA4600）の国内専門家に任命され、カンボジアの電気、道路、灌漑に関する報告書作成を担当。

2006年：カンボジア国家最高経済委員会（SNEC）事務局に勤務し、経済専門家としてスピーチ原稿起草を担当、またMEF副局長を務める。

2003年：首相の経済シンクタンクであるSNECの事務局で経済学研究者として勤務。

2002年後半：貧困削減事業の国内専門家に任命、世界銀行（WB）との調整担当として中核的な役割を担う。

2002年：MEF政策課・監督課職員、長官補佐。

【研修】

2013年：シドニー大学ロースクール商事裁判所インセンティブ研修プログラム（45日間）に参加したほか、高等裁判所、連邦裁判所、MaC法律事務所、調停センター、司法委員会を訪問（オーストラリア ニューサウスウェールズ州）

2008年：サンリス大審裁判所およびアミアン控訴院での5週間の修習（フランス共和国）

2007年：シンガポール大使館主催の法律英語研修プログラムに参加（カンボジア プノンペン）



Song Chorvoin

カンボジア プノンペン第一審検察庁

【現職】

プノンペン第一審裁判所検察局次席検事

- ・人身売買、薬物不法取引をはじめとする、多くの重大犯罪などの刑事事件の指揮監督、捜査、起訴を担当

【職歴】

2013年～2020年 カンボジア特別法廷（ECCC）カンボジア人補欠共同検察官

- ・民主カンブチア時代（1975年4月17日～1979年1月7日）に行われた犯罪について最も責任を有するクメール・ルーージュの上級指導者らを訴追
- ・予備調査の実施、司法調査への参加、第一審および控訴審で被疑者を起訴

2011～2013年 バンテイメンチエイ州第一審裁判所次席検事

- ・あらゆる種類の刑事事件の指揮監督・起訴を担当

【学歴】

- ・王立法律経済大学法学修士
- ・王立法律経済大学法学士
- ・王立プノンペン大学外国語研究所英文学士

【他の経歴】

- ・カンボジア商法に関する特別研修
- ・マネーロンダリングおよびテロ対策に関するカンボジア合同ワーキンググループのメンバー
- ・法学非常勤講師